



## 第2回まちなみ検討会議（前回）の確認

- 1.前回のまちなみ会議の整理
- 2.地権者説明会で出された主な意見(7/22開催)

対応

- 3.まちなみ会議の検討範囲(再確認)
- 4.景観デザイン方針(「静」、「動」と土地利用の関係)

- 5.本日の検討内容

# 1. 前回のまちなみ会議の整理

	前回の会議で出された主な意見・質問	資料	対応
土地利用に関する事	<p><b>&lt;土地利用のあり方について&gt;</b>            新駅周辺において都会では味わえない魅力を創出するため、<b>駅前に商業・業務施設をすべて無くしてはどうか</b>。駅前には田んぼや森などの田舎らしさがあったほうが良い。</p>	資料1	<p>土地区画整理事業は市街化を促進するものであり、商業・業務施設を立地させないことはその趣旨と異なります。            また、新駅地区では平成16年に都市計画決定しており、基本的に今から土地利用を変更することはできません。            このことから、<b>新駅周辺では一定の企業立地を促進し、旅客の利便性を備えながらも、左記とは異なる方法で、地域らしさが伝わるようなまちづくりを行いたい</b>と考えます。</p>
	<p><b>&lt;企業立地の促進について&gt;</b>            都会からは観光やビジネスが主な目的になるため、移動の確保の観点から<b>レンタカーや観光案内所、ホテルなどが必要</b>である。その他、<b>事務所の誘致、会議などに対応したコンベンション機能も必要</b>。            新幹線の効果を過大評価したまちづくりではなく、<b>西口は自然を活かして、東口は最低限の機能を配置することとしてはどうか</b>。            新駅が備えるべき機能は相当ある。他の地域との関連を持たせるのも一つである。これから<b>駅が果たす役割を具体的に引き出していく必要</b>がある。</p>	資料1	<p>今回、補足資料としてイメージ図をお示ししています。            なお、今後の企業立地のあり方については、現在、別の検討を行っています。</p>
まちなみ会議に関する事	<p><b>&lt;東西地区の性格付け&gt;</b>  <b>東口は新幹線のアクティビティ</b>があり、高架下も商業的な利用がなされるだろう。一方で<b>西口は在来線であり、妙高山の眺めや遺跡</b>がある。  <b>東口は交通面でも上越中心部への流れがあり、西口は静かで、水量が豊富</b>。</p>	資料1	<p>前回提案した、西口の「静」、東口の「動」という性格付けについて、より具体的なイメージを共有していただくため、今回、補足説明を行っています。  <b>今回を含め、今後の3回の会議のなかでこうした具体的なまちなみ(機能、景観)の検討</b>を行います。</p>
	<p><b>&lt;まちなみについて&gt;</b>            駅や駅前広場から目的地へのアクセス方法が分かる案内や、遺跡も活用して、<b>ぶらっと歩けるまちづくり</b>が良い。<b>桜の並木通りをつくり、高田のまちへ行くことを連想できるような工夫</b>も考えられる。  <b>どこの駅でも同じにならないように、森や田んぼの中にある新駅</b>になってほしい。  <b>低層のホテルなど、高田や直江津と違った考え方で整備しても良い</b>のでは。            駅舎や駅前の景観が重要となる。今後の議論に向けて、<b>歴史を重んじるのか、自然を重んじるのか</b>、という大枠を定めたほうが良い。            新駅周辺には幸いにも自然や遺跡があり、それらの<b>本物のものを大事</b>にしていく必要がある。</p>	資料2、 資料3	

## 2.地権者説明会で出された主な意見

(7月22日開催)

### ■ 土地利用方針について

意見 いま「大規模施設を作ってはダメ」というのは、(新駅周辺地区の)発展を阻害することになるのではないか。

上越市としては、これ以上の大規模商業施設等は不要と考えている。  
今のまちづくりのなかでは、高田・直江津・春日山が都市拠点、新幹線駅地区なので  
利便施設は必要であり、決して発展させないようにしている訳ではない。  
それぞれの地区に、上越市全体のなかでの役割がそれぞれあると考える。  
市としては現在の中心市街地(高田、直江津)との機能分担を図ることにより、  
上越市の玄関口としての役割を持つまちづくりが必要だと考えている。

### ■ 第2回(前回)のまちなみ検討会議について

意見 新幹線駅周辺整備とまちづくりのイメージが合致しない。ここは新幹線駅のまちであり、  
新幹線駅前と静かな町とは相容れないと思う。

意見 玄関口とは家で言えばすぐに別の部屋へ移動してしまうところであるが、次はどうなっている  
んだろうと期待感を持たせるのも玄関口である。玄関口の具体的なイメージや考えを示し  
てほしい。

玄関口としてのイメージは、「上越市に来た人がある程度の利便性が感じられる場所」。  
例えば、会議や宿泊ができる施設や、ここを拠点に上越市内を行動できるサポート施設  
(銀行やレンタカー等)などを想定している。

次に、具体的なイメージを提示します。

### 3.まちなみ検討会議の検討範囲（再確認）

#### 市街地の整備（民間建築物）

##### 土地区画整理事業の目的

道路・公園等の公共施設の整備・改善を行うとともに、宅地の利用をさらに高め、健全な市街地を形成するために行います。

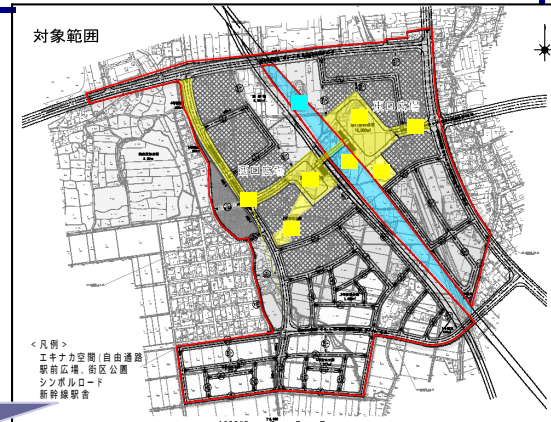
基本的に、事業地内の宅地化を推進するものであり、耕作等は目的としません。

平成17年度～ 土地区画整理事業実施  
平成22年度～ 建築開始（西側宅地）

#### 公共空間の整備（公共建築物）

##### まちなみ検討事業（会議）の目的

駅前広場等の公共空間とともに、民間建築物の整備のあり方について検討を行い、新幹線駅地区において目指すべきまちなみを提示します。



#### 【個別の計画】

「地区計画」で  
民間建築物の  
意匠や用途などを  
定める

#### 【まちなみ形成構想】（仮）

公共空間の整備  
民間建築物の整備

#### 【個別の事業】

駅前広場、  
新幹線駅舎等の  
整備を進める

公共と民間の空間を調和させ、次代に受け継ぐまちなみをつくる

## 4. 景観デザイン方針（「静」、「動」）と土地利用の関係

次ページ（土地利用で検討中）		西口「静」のイメージ	東口「動」のイメージ
機能	交通		
	もてなし、にぎわい		
まちなみ ・ 景観 (例)	担う役割	「自然と歴史の顔」 (地域のくらし、文化の伝達)	「にぎわいの顔」 (広域圏の玄関口 にぎわいや喧噪、高田・直江津との連続性)
	駅前空間 (広場や公園)	山並みなどの個性・特長を活かし、 空間的な見せ方を工夫	広い広場をフルに活用し、 地域らしさを演出
	受ける印象 (キーワード)	品格、落ち着き、未来的、洗練 ヒューマンスケール、田園的	華やかさ、活動的、機能的 未来的、洗練、スピード感、都会感
	色	あたたかみ、アースカラー	クール、ニュートラル
	あかり	周囲の山並みを邪魔しない、 おだやかでほのかなあかり	季節やイベントごとの演出が可能な、 躍動感のあるあかり

### 東京駅 周辺



東京駅(丸の内口)

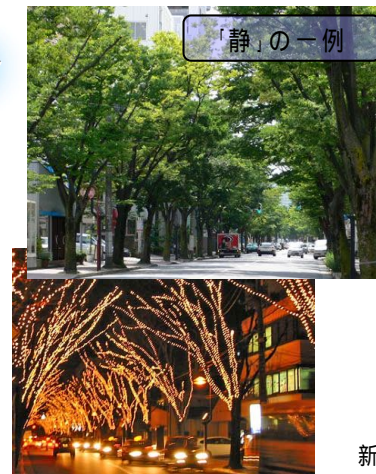
オフィス街のため人通りは多いが、皇居が目の前にあり、比較的静かな印象。



東京駅(八重洲口)

銀座方面を向いており、にぎやかさがある印象。

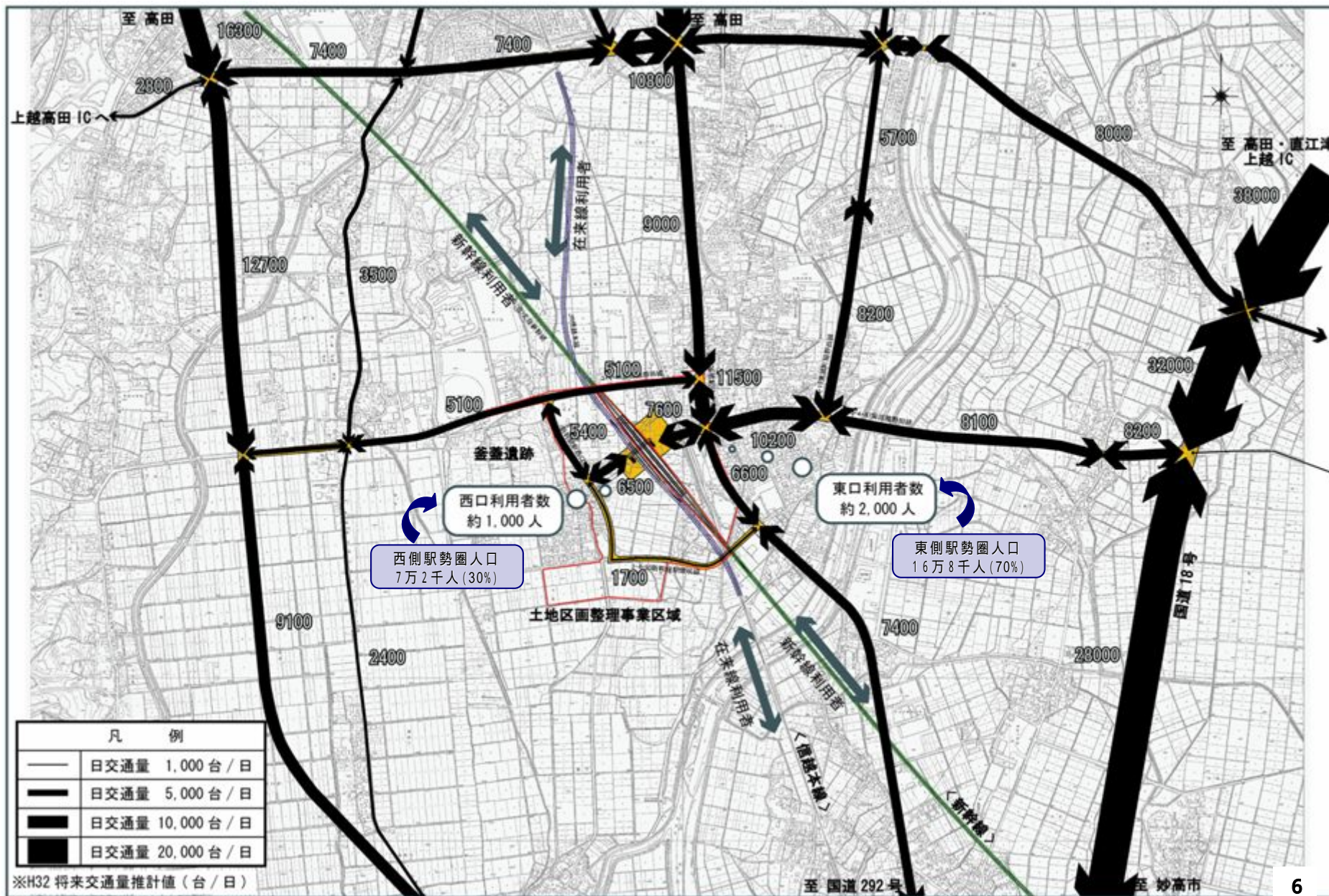
### 新潟駅 周辺



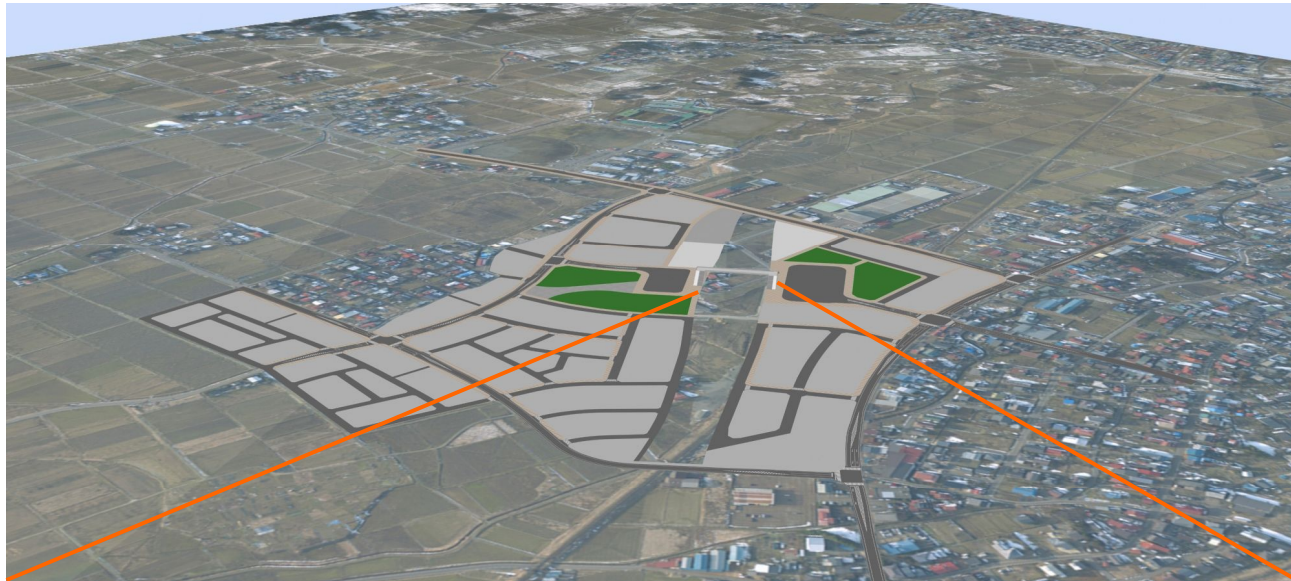
新潟駅(万代口)

新潟駅(南口)

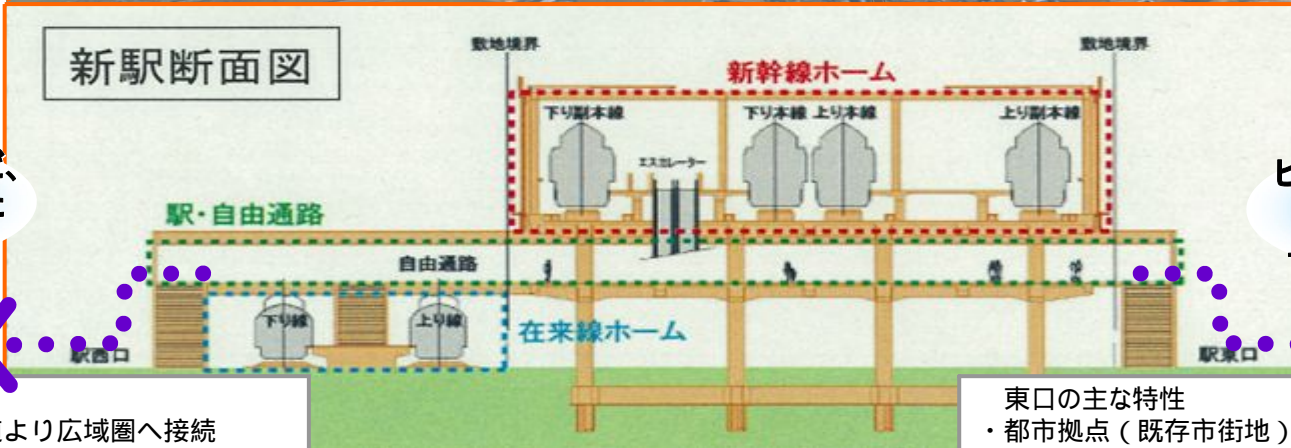
# 新幹線駅完成後の想定交通量 (平成32年)



# 新幹線駅完成後の旅客動線 (現在の想定)



新駅断面図



山並みや遺跡など、  
特徴を活かした  
利用へ

ビジネス目的の  
旅客は  
早く目的地へ

西口的主要特性

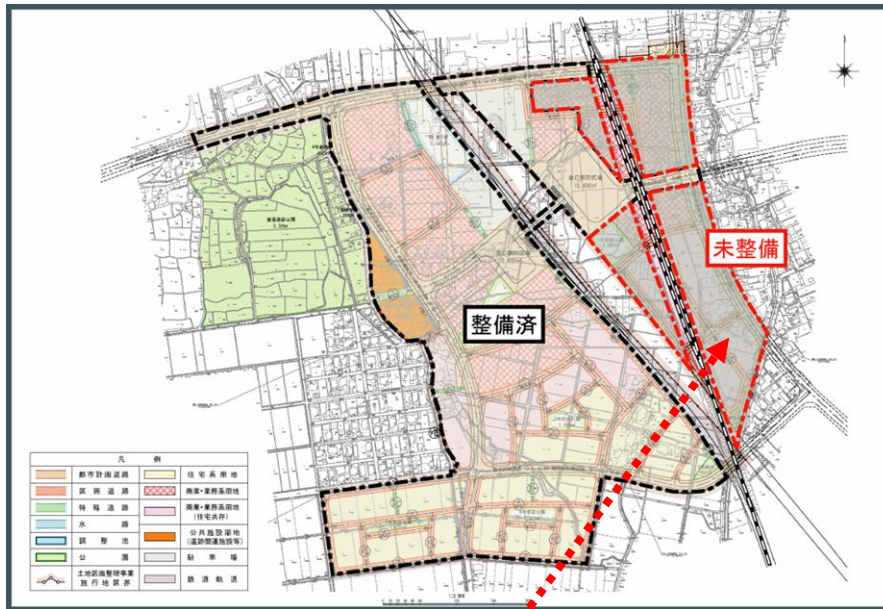
- ・ 上信越自動車道より広域圏へ接続
- ・ 釜蓋公園への近接性
- ・ 妙高山への眺望
- ・ 周辺土地利用は商業・業務系だけでなく、住・商共存、住宅系
- ・ 周囲には既存市街地とともに広大な農地が広がる

東口的主要特性

- ・ 都市拠点（既存市街地）へ接続
- ・ 佐渡への玄関口へ接続
- ・ 国道18号、北陸自動車道より広域圏へ接続
- ・ 国道292号より妙高市へ接続
- ・ 周辺土地利用は商業・業務系が主
- ・ 周囲には既存市街地が広がる

# 東西地区における段階的整備

開業時（平成26年度末）



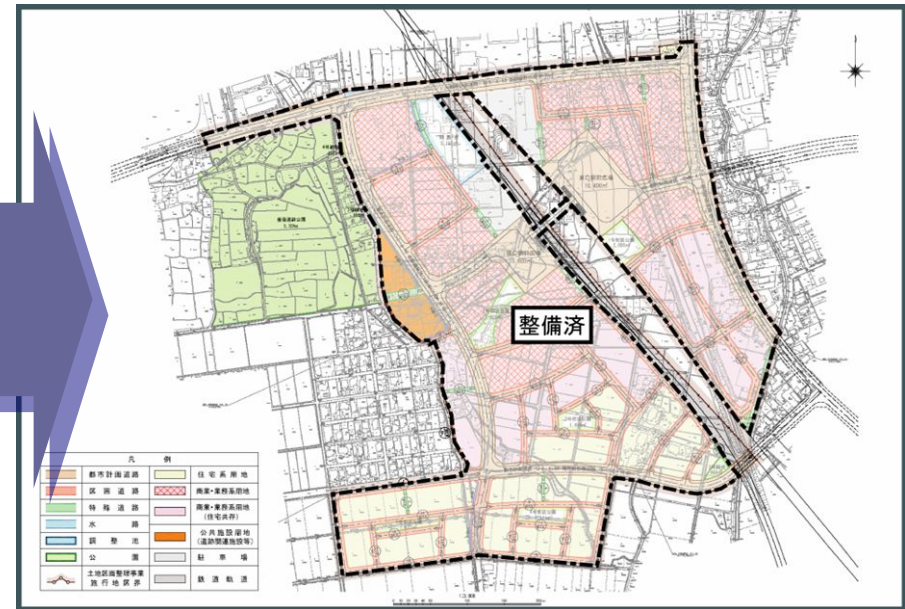
## 【駅東側】

新幹線と並行在来線が同時開業後、駅東側の信越線（旧線）を撤去するため、開業時は北側区画のみ供用し、**赤の区画は未整備**となります。

## 【駅西側】

平成22年ごろから宅地（黄色）への家屋移転を開始し、移転が終わった場所から順次、商業用地（赤色）の造成を行います。商業用地は、開業約1年前の、平成26年当初に建築開始できる見込みです。

開業3年後（平成29年度末ごろ）



## 【東西共通】

開業後、2～3年かけて駅東側区画の旧線の撤去及び造成を行い、駅東西ともに全面供用する予定です。

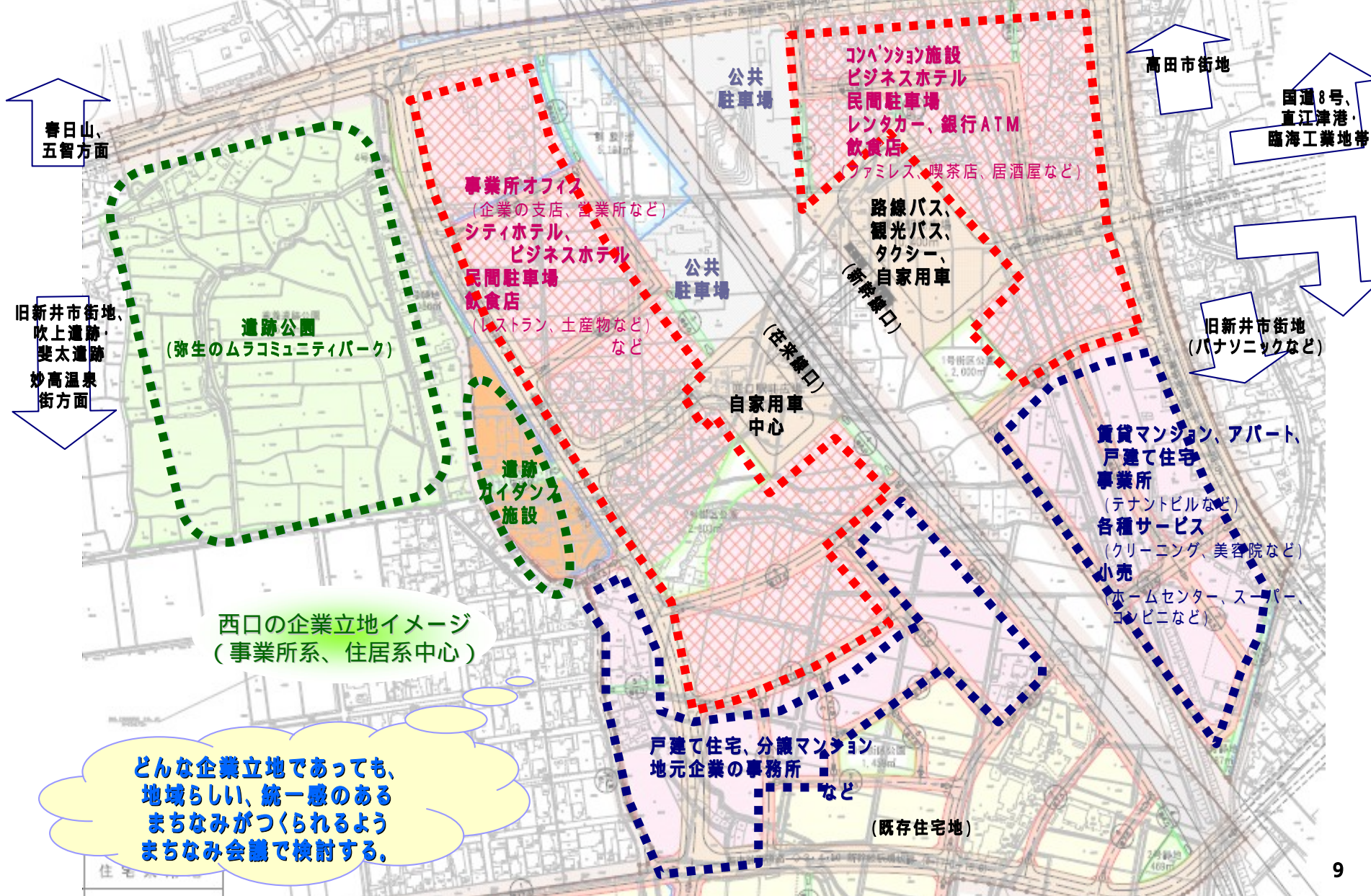
まちなみ会議では、  
将来的なまちなみを  
目標として検討



# 東西の企業立地イメージ

( 現在、パブリックコメント中の「土地利用方針案」の例示にもとづき、現時点の想定を示したもの。 )

東口の企業立地イメージ  
( 旅客サービス、近隣商業中心 )



どんな企業立地であっても、  
地域らしい、統一感のある  
まちなみがつくれるよう  
まちなみ会議で検討する。

# 5. 本日の検討内容

## 検討スケジュール

駅デザイン提案の都合上、若干、スケジュールの変更(遅れ)が見込まれます。

年月	平成21年								平成22年			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
検討会議	第1回	第2回			第3回	第4回		第5回	第6~8回			
説明会等	↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓			↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓			市民意見交換会		地元説明会	市民説明会	デザイン案公表	市民説明会
備(検討内容等考)	趣旨要綱 委員紹介 意見交換 現地視察	まちづくり グランドデザイン(案) デザイン コンセプト(案)			第2回指 摘事項対 応 個別施設 整備方針	個別施設 整備方針 地区全体 の調和の 検証	第4回検 討会議資 料ベース	個別施設 整備方針 地区全体 の調和の 検証	駅舎デザ インの紹介 ・評価視点 ・市民意見 募集方法	駅舎デザ イン市民意 見結果 ・駅舎デザ イン選定	最終報告 ・次年度の 検討内容、 スケジュール等	

今回の会議

3回かけて全体イメージをまとめる

会議終了後、毎回、地権者説明会を開催

デザイン選定